

よしながだより

vol 5

外に出るネコちゃんは要注意!!

猫免疫不全ウイルス感染症(ネコエイズ)

猫免疫不全ウイルス感染症は、感染末期にはエイズ症状となるため、「ネコエイズ」とも呼ばれています。この病気は一度感染すると治ることはありません。除々に免疫力が低下し、進行すると死に至る恐ろしい病気です。

ネコエイズの感染経路

ネコエイズウイルスは、このウイルスに感染している猫の唾液や血液に含まれています。このため、猫同士のケンカなどによる咬み傷からウイルスが体内に侵入して感染することがほとんどです。ネコエイズに感染した母猫から生まれてくる子猫に感染することもあります。食器の共有やグルーミングで感染することはないと考えられています。



ネコエイズの症状

ウイルスに感染した頃に発熱や下痢がみられますが、回復し、症状は消えます。



特に症状がみられない期間が数年~10年以上続きます。しかし、この期間にも病気はゆっくりと進行しています。



その後、**免疫力が低下**するのであらゆる感染症に低抗できない状態になります。そのため、口内炎や結膜炎、上部気道炎(クシャミ・鼻汁・咳)、皮膚病などがみられ、なかなか治りません。



さらに進行すると体重が減少し、貧血や悪性腫瘍、健康な猫では病気を起こしにくい弱い病原体でもひどい症状を起こしたりします。この時期になると**数カ月で死に至ります**。



ネコエイズの予防方法

- ① 室内で飼い、外の猫との接触を避ける
- ② 新しい猫を同居させる時にはネコエイズの検査をする
(検査をするまでは猫同士、接触させないようにしましょう)
- ③ 避妊・去勢手術をする
(ケンカをする機会が減ります)

④ **ネコエイズの予防注射**を受ける

近年、日本でもネコエイズのワクチンを接種できるようになりました。外に出る猫は、エイズを予防しておいたほうが長く生きられる可能性があります。

詳しくは獣医師・スタッフにおたずね下さい。